

CADWe'll 土木 2011

改善項目一覧



株式会社 ダイテック

DAITEC

<http://www.daitec.co.jp/>

平成 22 年 4 月吉日

ごあいさつ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

このたびは弊社 CADWe'll 土木 2011 をご導入いただき、心よりお礼申し上げます。

本製品は日頃よりお寄せいただいておりますお客様の声にお応えするべく、機能改善を組み込んだ製品としてリリースいたしました。従いまして、新たに加わった機能をお使いいただく場合はもとより、従来からご提供している機能のみをお使いになる場合におきましても、旧バージョンよりも効率的で安心して本製品をご利用いただけるものと確信しております。

本冊子では、前バージョン CADWe'll 土木 2010 からの機能改善に関して説明しております。すでに CADWe'll 土木シリーズをお使いのお客様におかれましては、どのような機能が追加されたのか、何が変更になったのかを素早くご理解いただける内容となっております。また、製品のポテンシャルを最大限引き出し、お客様の業務効率化に役に立てていただくために、本冊子を是非ご一読いただくことを全ての利用者様にお奨めします。

今後ともお客様のご期待に添えるソフトウェア開発に全社一丸となって努めて参る所存でございますので、弊社 CADWe'll シリーズを末永くご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

CONTENTS

1. 対応 OS について.....	1
2. 他 CAD 図面入出力について.....	1
3. 印刷について.....	2
4. レイアウトについて.....	3
5. シートについて.....	4
6. 設定について.....	5
7. TS 出来形管理要領について.....	6
8. 道路縦横断について.....	7
9. その他追加機能について.....	8
10. その他改善について.....	9

- 「CADWe' 11」は株式会社ダイテックの登録商標です。また、「CADWe' 11 土木」は株式会社ダイテックの商標です。
- 「CADWe' 11 土木 2011」は株式会社ダイテックの著作物であり、「CADWe' 11 土木 2011」にかかる著作権、その他の権利はすべて株式会社ダイテックに帰属します。
- Microsoft、Windows、Windows XP、Windows Vista、Windows 7 は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- その他、本文中に記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。
- 本文中にTM、[®]、[©]は明記していません。
- 本書の記載内容は、予告なく変更することがあります。

CADWe'll 土木 2011 改善項目一覧

CADWe'll 土木 2010 から、以下の 35 項目の改善を行いました。

1. 対応 OS について

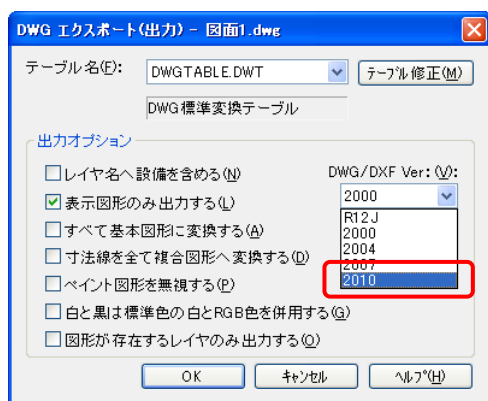
(1) Windows 7 に対応しました。

注：本製品は 32 ビットアプリケーションです。64 ビット版の Windows 7 では 32 ビットエミュレータ上で本製品が動作します。

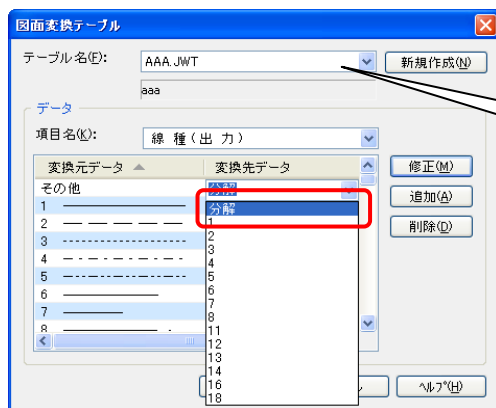
2. 他 CAD 図面入出力について

(1) AutoCAD2011 (DWG2010 形式) ファイルをインポート・エクスポートできるようにしました。

注：DWG2007 形式以前の図面を読込んだ場合、注釈尺度を使用した図形の色・線種・線幅は Bylayer で読込まれます。

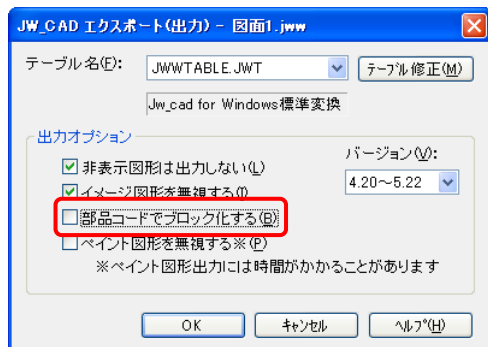


(2) JW_CAD エクスポート (出力) の図面変換テーブルで、線種の分解出力を指定できるようにしました。

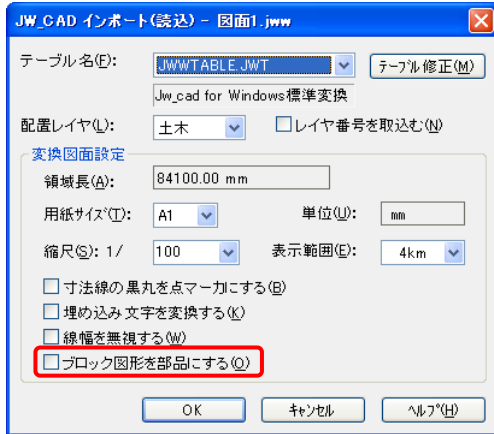


JW_cad for Windows 標準変換テーブルを元に新規作成したテーブルです。

(3) JW_CAD エクスポート (出力) の出力オプションで、部品コードごとに同一の定義を持つブロック図形として出力できる機能を追加しました。



- (4) JW_CAD インポート（読込）の変換図面設定で、ブロック図形を部品（図面内部品）として読込む機能を追加しました。



- (5) JW_CAD の文字間隔 0.01 の均等割付文字を読み込んだ際に、均等割付が解除されるようにしました。

3. 印刷について

- (1) 印刷の設定項目[#1]が CAD 再起動時も保持されるようにしました。

[#1]メニューバー[ファイル]-[印刷]の[印刷]ダイアログ

注：用紙、横置き/縦置き、倍率/縮尺の数値は除きます。

- (2) 印刷時に印刷用の色/線幅を使用できる機能[#1]を追加しました。

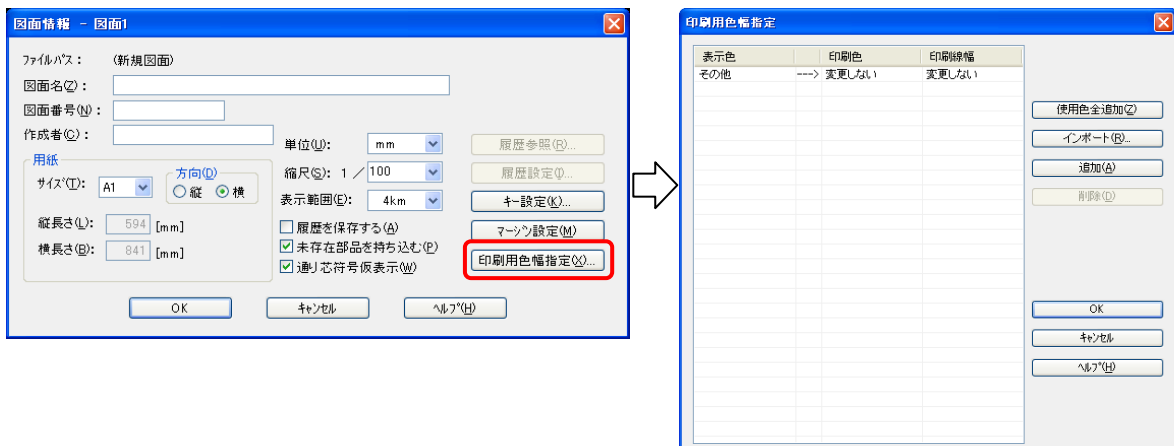
[#1]メニューバー[ファイル]-[印刷]の[印刷]ダイアログ



※印刷用の色幅指定は、図面情報設定機能[#1]で設定します。

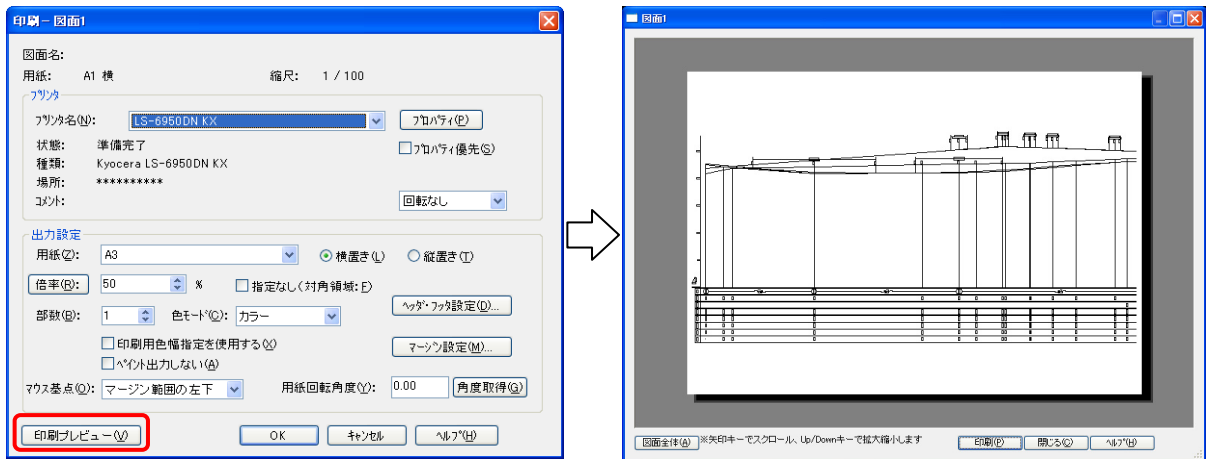
色をキーとして任意の色、線幅を設定できます。また、この設定は図面/テンプレートに保持されます。

[#1]メニューバー[ファイル]-[図面情報設定]の[図面情報]ダイアログ



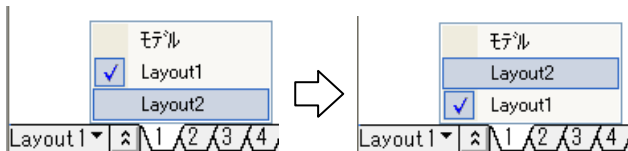
- (3) 印刷プレビュー[#1]を追加しました。用紙の納まりと共に、印刷時の色/線幅設定の状態を事前に確認できます。

[#1]メニューバー[ファイル]-[印刷]の[印刷]ダイアログ



4. レイアウトについて

- (1) レイアウトの並び順を変更できるようにしました。
(レイアウトボタンのポップアップ内でのドラッグアンドドロップ)



- (2) ビューポート内の図形が実図形化される際（SXF 出力、シートの図面登録、レイアウト解除等）に、先端記号サイズや文字サイズ、イメージのクリッピングがビューポート上での見た目と同等となりました。

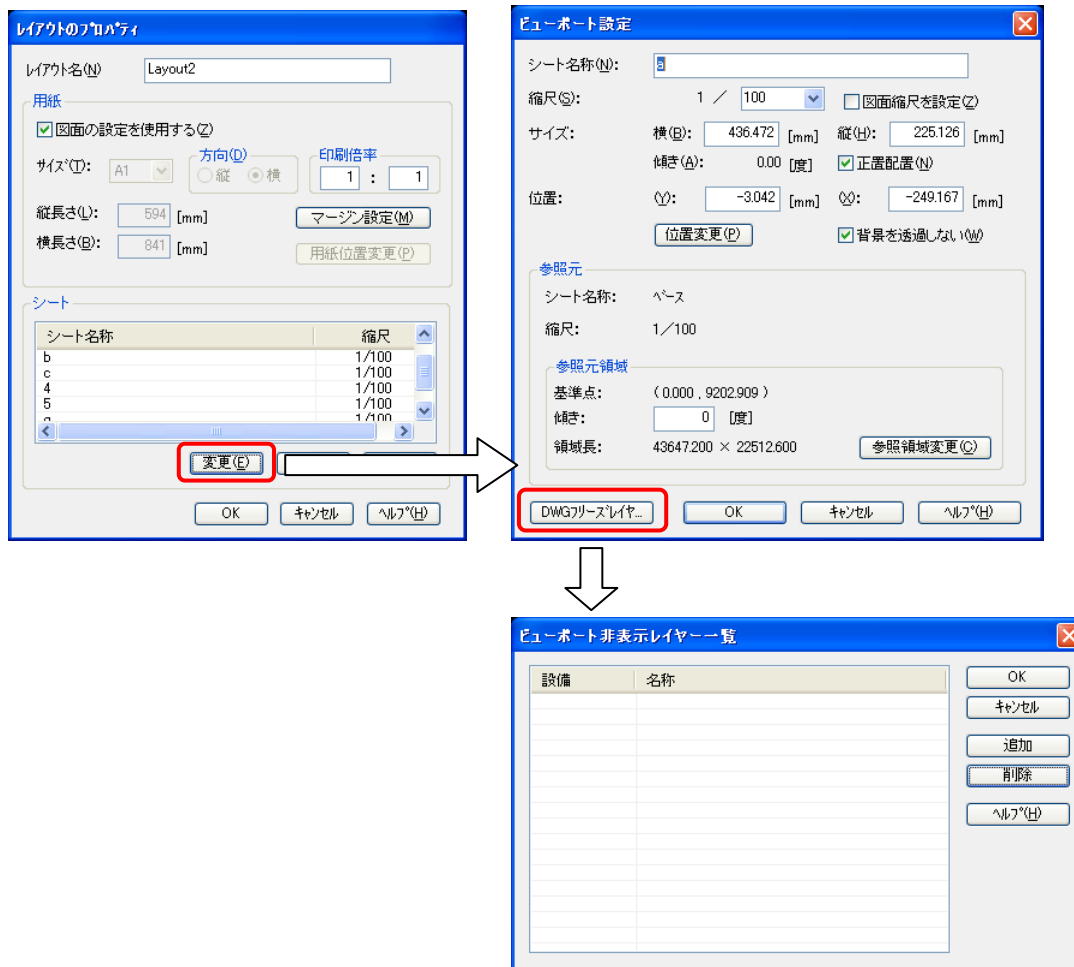
注：OLE は除きます。

- (3) ビューポートの作成/追加の際に、任意の配置基準点を指定できるようにしました。
(4) ビューポート背景の透過/非透過を設定できるようにしました。

注：旧バージョンで読込んだ場合は、すべてのビューポートが透過の状態になります。



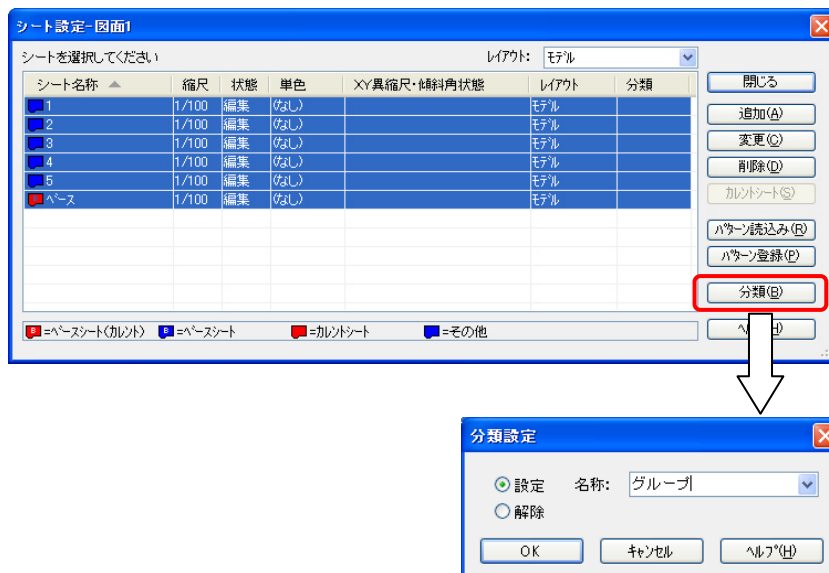
(5) ビューポートのフリーズレイヤを追加/削除できるようにしました。



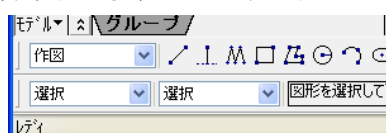
5. シートについて

(1) シート分類機能を追加しました。任意のシートをグループ化できます。

注：旧バージョンで読込んだ場合は、分類が解除された状態になります。



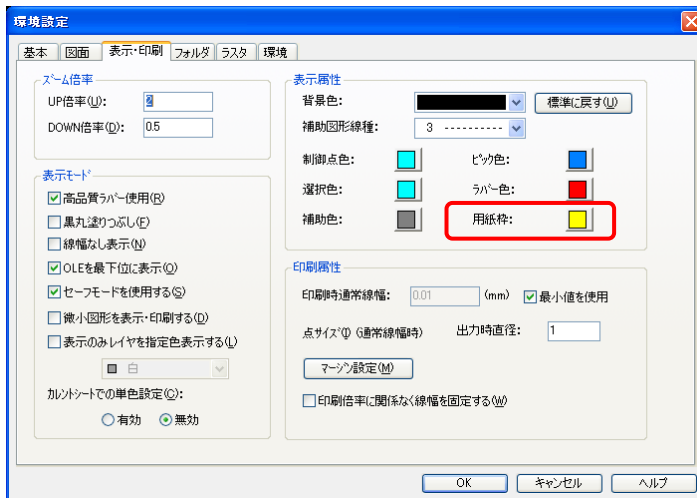
分類設定後、シート名が設定した分類名で表示されます。



6. 設定について

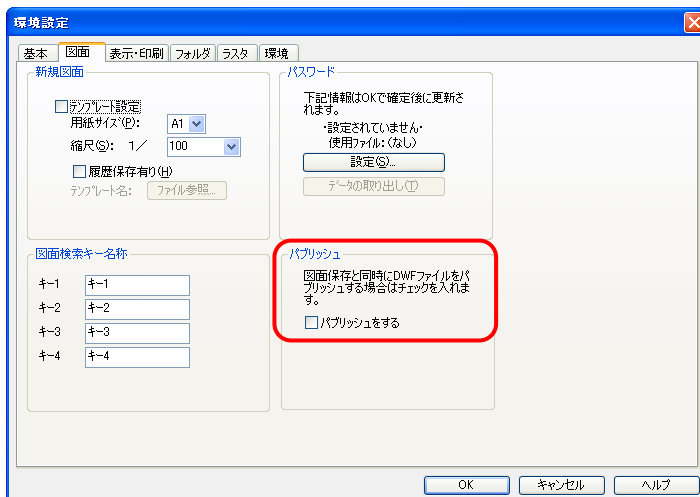
- (1) 用紙枠の色を任意に設定する機能^{【#1】}を追加しました。

【#1】メニューバー[設定]-[環境設定]の[環境設定]ダイアログ-[表示・印刷]タブ



- (2) 図面保存時に DWF を同時出力する機能^{【#1】}を追加しました。

【#1】メニューバー[設定]-[環境設定]の[環境設定]ダイアログ-[図面]タブ

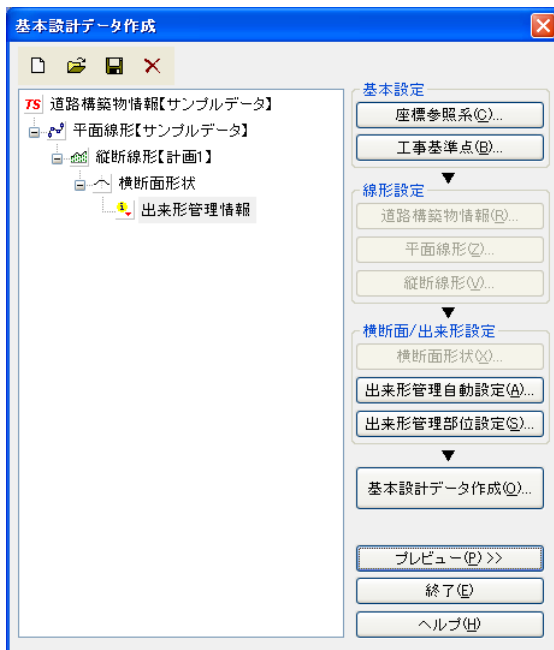


- (3) ラスタ (白黒 TIFF) の前景色が、[環境設定]-[ラスタ]の色項目に反応するようになりました。

7. TS 出来形管理要領について

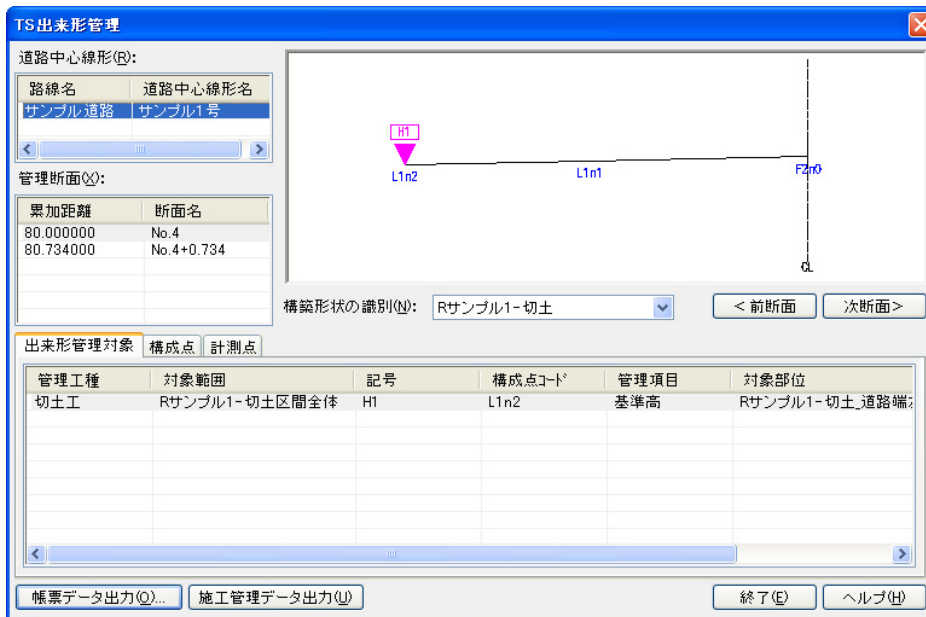
- (1) TS 出来形管理要領 2.0 に対応する基本設計データ作成機能^[#1]を追加しました。

[#1]メニューバー[その他]-[TS 出来形管理]-[基本設計データ作成]



- (2) TS 出来形管理要領 2.0 に対応する帳票出力データ作成機能^[#1]を追加しました。

[#1]メニューバー[その他]-[TS 出来形管理]-[帳票出力データ作成]



8. 道路縦横断について

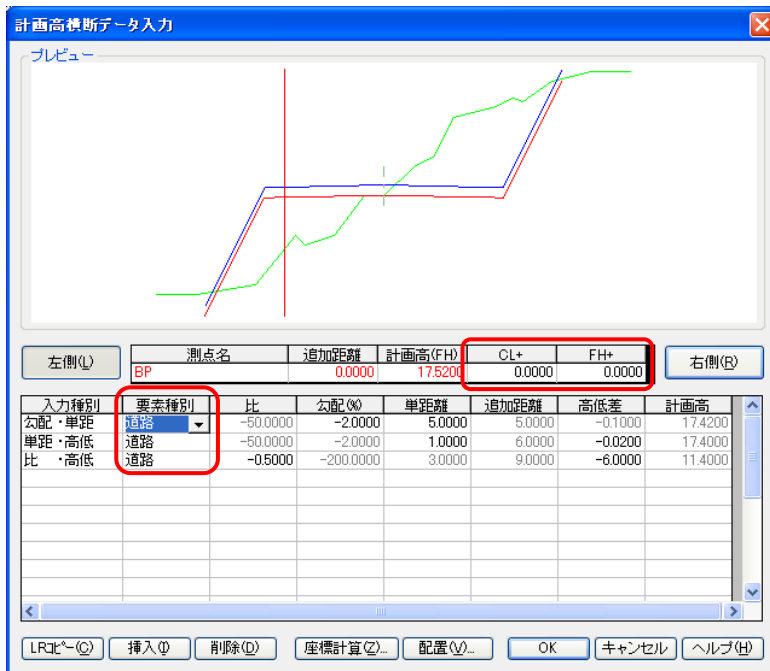
- (1) 縦断図作成の機能^{〔#1〕}で道路中心線形ファイル(*.XML)が入出力できるようにしました。また現地盤高・計画点高が未入力の場合測点が存在しても比例計算により縦断図が作成できるようにしました。

〔#1〕メニューバー[道路]-[道路縦断図]-[作成]

- (2) 横断図作成の計画高横断データ入力機能^{〔#1〕}、出来高横断データ入力機能^{〔#2〕}で道路中心線からのオフセット距離、“道路”・“法面”・“小段”・“その他”から選択する要素種別を設定できるようにしました。

〔#1〕メニューバー[道路]-[道路横断図]-[作成]-[データ入力]ダイアログ-高さコンボボックス“計画高”選択-<横断データ入力>ボタンクリック-[計画高横断データ入力]ダイアログ

〔#2〕メニューバー[道路]-[道路横断図]-[作成]-[データ入力]ダイアログ-高さコンボボックス“出来高”選択-<横断データ入力>ボタンクリック-[出来高横断データ入力]ダイアログ



- (3) 計算書作成機能^{〔#1〕}の路線要素で”逆クロソイド”という表記を”クロソイド”に変更しました。

〔#1〕メニューバー[道路]-[計算書作成]-[路線要素]

- (4) 閉領域になっていない横断図データでも土量計算を行うように変更しました。

- (5) 縦断図^{〔#1〕}、下水道縦断図^{〔#2〕}、切削オーバーレイ^{〔#3〕}の目盛単位、DL値の入力を小数点以下第3位までにしました。

〔#1〕メニューバー[道路]-[道路縦断図]-[作成]-[縦断図データ入力]ダイアログ

〔#2〕メニューバー[その他]-[下水道縦断]-[作成]-[下水道縦断図データ入力]ダイアログ

〔#3〕メニューバー[道路]-[切削オーバーレイ]-[作成]-[計画線初期設定]ダイアログ-[切削オーバーレイ]ダイアログ-[縦断図表示]ボタンクリック-[縦断データ]ダイアログ

9. その他追加機能について

- (1) 雲形を任意の多角形で作図する機能^[#1]を追加しました。

[#1]メニューバー[作図]－[雲形]－[多角形]

- (2) 一時保存ファイルを開く機能^[#1]を追加しました。

[#1]メニューバー[ファイル]－[一時保存図面を開く]

- (3) [ホールドー条件変更]のショートカット動作で、[無し]→[水平]→[垂直]→[15°]→[(前回値)]の順に切替えられるようにしました。

注：勾配、任意角度、%勾配、度/分/秒角度、2点角度、図形角度は除きます。

- (4) 計測の多角形面積機能^[#1]、ハッチングの多角形領域機能^[#2]、ペイントの多角形領域機能^[#3]で指定点を点数制限なしに入力できるようにしました。

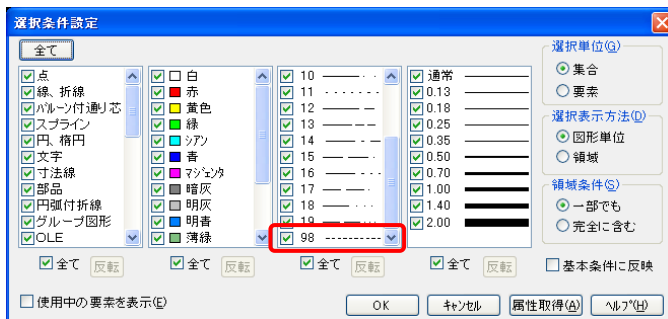
[#1]メニューバー[表示]－[計測]－[多角形面積]

[#2]メニューバー[作図]－[ハッチング]－[多角形領域]

[#3]メニューバー[作図]－[ペイント]－[多角形領域]

- (5) 選択条件^[#1]の線種に、隠線線種（98番）を常に表示するようにしました。

[#1]メニューバー[図形編集]－[選択]－[条件設定]



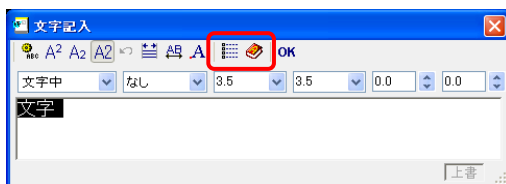
- (6) 文字入力^[#1]、文字編集^[#2]、引出線^[#3]の文字入力ダイアログで、文字の履歴と用語集を利用できるようにしました。

[#1]メニューバー[作図]－[文字]－[文字記入]

[#2]メニューバー[作図]－[文字]－[編集]

[#3]メニューバー[作図]－[引出線]－[引出線記入]

注：カーソル位置への挿入および選択文字列の置換。



- (7) Ver4.0のSIMAデータを読み込む^[#1]ようにしました。

[#1]メニューバー[測量]－[SIMA入出力]－[入力]

- (8) 出来形管理表^[#1]の国交省パターン名称を変更しました。

[#1]メニューバー[その他]－[出来形表]－[管理表作成]－[管理表作成]ダイアログの[パターン]項目

旧パターン名称	新パターン名称
国交省仕様 1-2 (T08)	国交省様式 82 (T08)
国交省仕様 3 (T09)	国交省様式 84 (T09)
国交省仕様 1-1 (T10)	国交省様式 81 (T10)
国交省仕様 2 (T11)	国交省様式 83 (T11)
国交省仕様 4 (T12)	国交省様式 85 (T12)

注：ユーザがパターン名称を変更している場合は、上記名称では表示されません。

10. その他改善について

- (1) 伸縮のトリミング機能^{#1}で始点入力時のガイダンスを、「伸縮始点を入力してください」に変更しました。

[#1]メニューバー[図形編集]-[トリム]-[伸縮]

- (2) 補助線の削除機能^{#1}でガイダンスを「～ (Enter : 全削除)」に変更しました。

[#1]メニューバー[作図]-[補助線]-[削除]

以上

版番号 : 1